

教職員の皆様のご意見をお聴かせください

## 小中学校の適正規模等に関する意識調査

高萩市教育委員会では、将来的な児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化に対応しながら、児童・生徒がより良い教育環境で学ぶことができるようにするため、令和4年5月に「高萩市市立小中学校適正規模・適正配置検討委員会（以下、「委員会」という。）」を設置し、学校の統廃合を含め、学校の適正規模（学級数等）や適正配置（通学距離・時間等）について検討を進めています。

委員会は、PTA や小・中学校長及び幼稚園等の代表、学識経験者、地域市民の皆様で構成し、様々な視点から検討を進めていきますが、教職員の皆様の学校規模等に関するお考え方や意識を把握し、委員会での議論を充実させるとともに、今後の検討における基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施させていただくこととしました。

調査は無記名であり、全て統計的に処理するため、回答者が特定されることはありません。また、他の目的には一切使用いたしませんので、ご自身のお考えのままをご回答ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ぜひ調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年6月 高萩市教育委員会

### ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- 回答する○の数はそれぞれ異なります。（ ）内のことわり書きに従ってご回答ください。
- 回答していただく方が限られる場合がありますので、案内に従ってご回答ください。
- 「その他」と回答した場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 回答したくない質問については、無理に回答する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は、令和4年6月30日（木）までに、各学校で取り纏めの上、教育総務課まで提出してください。
- インターネットでの回答も可能ですので、右のQRコードからアクセスしてください。



Web 調査用

### 【お問い合わせ先】

〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1

高萩市教育委員会 教育総務課 教育施設再編推進グループ

TEL : 0293-23-1131 (直通) FAX : 0293-23-1126



## 高萩市立小・中学校をとりまく状況

### ○児童・生徒数等の推移と将来推計

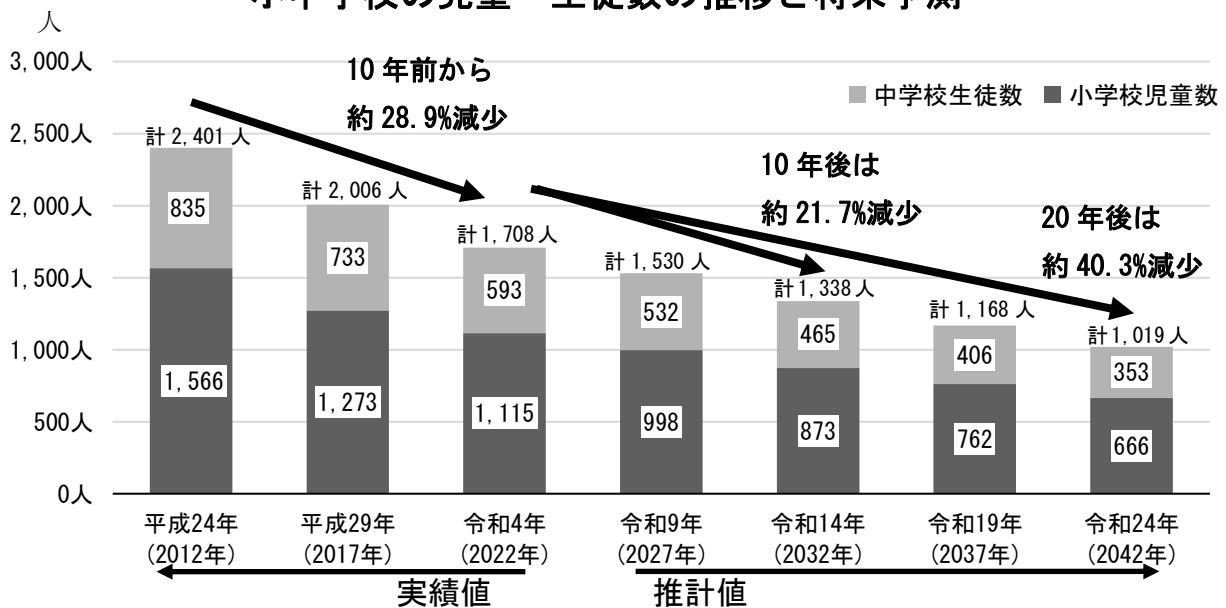
高萩市の小学校の児童数及び中学校の生徒数は、1970（昭和 45）年代以降、一時的に増加した期間はあるものの、おおむね減少が続いています。

特に山間部の人口減少が大きく、かつては、当該地域に小学校3校、中学校1校が存在していましたが、統廃合を行い、現在、当該地域に小中学校は配置されていません。

2022（令和4）年の小学校の児童数は1,115人、中学校の生徒数は593人となっており、今後も人口減少に伴い児童・生徒数の減少が見込まれています。将来推計では、20年後の2042（令和24）年には、児童数は666人、生徒数は353人となり、現在の2022（令和4）年よりも、約40パーセント減少することが見込まれています。

このため、人口減少社会における児童・生徒の教育環境について、長期的な視点をもって検討を進めていく必要があります。

### 小中学校の児童・生徒数の推移と将来予測



※児童・生徒数の将来推計値は、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」）「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」における5～14歳推計人口の減少率を令和4年実績値に乗じた人数。

### ○学校施設をとりまく状況

学校施設として、高萩市には、小学校4校、中学校3校の合計7校が整備されています。学校施設の主要な建物（校舎、体育館等）は21棟あり、そのうち12棟（57.1%）が築40年以上経過するなど、老朽化が進んでいます。

今後、建て替え等の費用を削減・平準化しながら、将来にわたって子どもたちの学校生活における安全を確保するとともに、これからの教育活動に対応できる教育環境を整えていくため、将来の児童生徒数に見合った学校規模や配置で建て替え等を実施していく必要があると考えています。

# ここからアンケートの設問になります

## ○あなたについて

問1 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満  | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60歳以上  |

問2 あなたが勤務している学校名を選択してください。「○」は1つ

- |       |          |          |          |         |
|-------|----------|----------|----------|---------|
| 【小学校】 | 1. 高萩小学校 | 2. 秋山小学校 | 3. 松岡小学校 | 4. 東小学校 |
| 【中学校】 | 5. 高萩中学校 | 6. 秋山中学校 | 7. 松岡中学校 |         |

## ○小・中学校の学級数について

国の規則では、小・中学校の学校規模の標準として、次のとおり定めています。

小学校：12学級以上18学級以下（1学年2～3学級）※1

中学校：12学級以上18学級以下（1学年4～6学級）※1

また、茨城県教育委員会では公立小中学校の適正規模について指針を示し、公立小中学校の適正規模として下記を基準としました。

小学校：クラス替えが可能な各学年2学級以上となる12学級以上※1が望ましい

中学校：クラス替えが可能で、すべての教科の担任が配置できる9学級（1学年3学級）以上※1が望ましい（主要5教科で複数の教員配置が可能※2）

(※1) 学級：この場合の学級には、特別支援学級は含まれません。

(※2) 教員配置：中学校では、学級数に応じて教科ごとの教員数が定められています。例えば、7学級の場合、国語・社会・英語の教員が1人しか配置されません。（9学級以上は各2人）。6学級では、さらに家庭科の教諭が配置されず、非常勤の教員が対応したり、他校の家庭科の教員が出向いて授業を行っています。

問3 これまでにあなたが国の規則で定める標準より少ない学級数（1校当たり11学級以下）の学校で勤務した経験の有無を選択してください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問4 これまでにあなたが国の規則で定める標準規模以上の学級数（1校当たり19学級以上）の学校で勤務した経験の有無を選択してください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問5 1学年当たりの学級数が標準より少ない小規模な学校と標準規模又はより多い大規模な学校のメリット・デメリットについて、あなたのお考えをお聴かせください。(調査項目ごとに、あなたのお考えに近いものを「○」2つまで)

問5-1【小規模な学校のメリット】(あなたのお考えに近いもの：○は2つまで)

1. 児童・生徒の人間関係が深まりやすい
2. 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会などが多くなりやすい
3. 異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい
4. 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい
5. 授業で使用する教材や教具が一人一人に行き渡りやすい
6. 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい
7. メリットはない
8. その他( )

問5-2【小規模な学校のデメリット】(あなたのお考えに近いもの：○は2つまで)

1. クラス替えが困難なことなどから、児童・生徒の人間関係や相互の評価などが固定化しやすい
2. 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい
3. 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に制約が生じやすい
4. 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい
5. 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい
6. PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい
7. デメリットはない
8. その他( )

問5-3【標準規模又は大規模な学校のメリット】(あなたのお考えに近いもの：○は2つまで)

1. 豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい
2. 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が多くなりやすい
3. 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に活気が生じやすい
4. 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりやすい
5. 様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい
6. PTA 活動等における役割分担などで保護者の負担を分散しやすい
7. メリットはない
8. その他( )

問5-4【標準規模又は大規模な学校のデメリット】(あなたのお考えに近いもの：○は2つまで)

1. 全教職員による児童・生徒一人一人の把握が難しくなりやすい
2. 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会などが少くなりやすい
3. 同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少くなりやすい
4. 特別教室や体育館等の施設・設備の利用面で、一定の制約がかかりやすい
5. 当てはまるものはない
6. デメリットはない
7. その他( )

問2で「小学校」を選んだ教職員の方にお聴きします。

問6-1 今後、人口減少の進行により、小規模な小学校が増えることが予測されますが、1学年当たりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。(「○」は1つ)

- |        |        |          |
|--------|--------|----------|
| 1. 1学級 | 2. 2学級 | 3. 3学級以上 |
|--------|--------|----------|

問2で「中学校」を選んだ教職員の方にお聴きします。

問6-2 今後、人口減少の進行により小規模な中学校が増えることが予測されますが、1学年当たりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。(「○」は1つ)

- |        |        |          |
|--------|--------|----------|
| 1. 1学級 | 2. 2学級 | 3. 3学級以上 |
|--------|--------|----------|

[小学校] [中学校]

問7 問6-1または問6-2でその学級数を選択した理由をお聴かせください。(「○」3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 児童・生徒の人間関係が深まりやすい                     |
| 2. 豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい            |
| 3. 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が多くなりやすい |
| 4. 異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい               |
| 5. 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会など多くなりやすい      |
| 6. 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい              |
| 7. 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりやすい          |
| 8. 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に活気が生じやすい          |
| 9. 様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい       |
| 10. 授業で使用する教材や教具が一人一人に行き渡りやすい            |
| 11. 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい          |
| 12. PTA 活動等における役割分担などで保護者の負担を分散しやすい      |
| 13. その他 ( )                              |

## ○現在の学校規模の課題について

問8 あなたが勤務している学校における学校運営上の課題について、あなたのお考えをお聴かせください。(調査項目ごとに、あなたの考えにあてはまるものを1つ選択してください。)

①教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行っていく

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない

②教職員同士が切磋琢磨する環境を作りやすく、指導技術の相互伝達や人材育成がなされにくい

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない

③教職員一人当たりの校務負担や学校行事に関する負担が重くなりやすい

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない

④清掃や校内の環境整備等への対応が追いつかなくなりやすい

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない

⑤部活動等の指導者を確保することが難しくなりやすい

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない

⑥教職員の出張や研修等の調整が難しくなりやすい

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない

⑦校外学習でのバス代や卒業アルバム作成費用などで、児童・生徒一人一人の負担が大きくなりやすい

1. そう思う    2. 少し思う    3. どちらでもない    4. あまり思わない    5. そう思わない



## ○児童・生徒の通学時間や通学方法について

問2で「小学校」を選んだ教職員の方にお聴きします。

問9-1 児童の徒歩での片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。(「○」は1つ)

※国では、通学時間について「おおむね1時間以内(4km)」を一応の目安ととしています。

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 15分未満      | 2. 15分以上30分未満  | 3. 30分以上45分未満 |
| 4. 45分以上60分未満 | 5. 60分以上も許容できる |               |

問2で「中学校」を選んだ教職員の方にお聴きします。

問9-2: 生徒の徒歩での片道の通学時間は、どのくらいの時間までが許容範囲だと思いますか。(「○」は1つ)

※国では、通学時間について「おおむね1時間以内(6km)」を一応の目安ととしています。

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| 1. 15分未満      | 2. 15分以上30分未満  | 3. 30分以上45分未満 |
| 4. 45分以上60分未満 | 5. 60分以上も許容できる |               |

問10 問9-1または問9-2でお答えいただいた通学時間の範囲を超える場所に学校が立地していると仮定した場合、児童・生徒が通学するために、どのような配慮が必要だと思いますか。(「○」2つまで)

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1. 公共交通機関(バスなど)の利用を認める | 2. スクールバスを運行する |
| 3. 自転車での通学を認める         | 4. 徒歩で構わない     |
| 5. その他( )              |                |

## ○学校施設の老朽化について

問11 市立小・中学校は地域における活動拠点としての役割も担っていますが、施設の老朽化が進行しています。学校施設の老朽化によって発生する問題のうち、重要な問題は何だと思いますか。(○は2つまで)

- |   |
|---|
| 1. 災害の発生時に施設が壊れやすくなる可能性があるなど、児童・生徒の安全が確保できなくなる恐れがある                         |
| 2. 施設が建設当時(40~50年前)の考え方で設計されているため、教育内容・方法の変化に対応できず、子どもたちの教育環境を充実させることが難しくなる |
| 3. 雨漏りや設備の故障などにより、学校生活に支障をきたす恐れがある  |
| 4. 災害の発生時に地域の避難施設として使用できなくなる恐れがある   |
| 5. 児童・生徒の登校意欲が低下する恐れがある   |
| 6. その他( )   |

問 12 人口減少と学校施設の老朽化が進行している状況において、学校施設の安全を確保するとともに、未来の教育活動に対応できるよう教育環境を充実させていくためには、どのような考え方で建て替えを進める必要があると思いますか。(〇は1つ)

1. 現在の学校数を維持し、全ての学校を建て替える
2. 将来の児童・生徒数を見据え、学校の統合などを視野に入れ、建て替える学校を決めて、建て替える
3. その他 ( )

### 〇学校の適正規模・適正配置の検討について

問 13 小中学校の小規模化への対応として、子どもたちの学習環境を整えるため学校の統合や小中一貫校の新設などを進めている自治体があります。このような対応について、どのように考えますか。あなたの考えに近いと思われるものをお答えください。(〇は1つ)

1. より良い教育のため、積極的に統合すべき
2. 児童生徒数が減っているため、統合はやむを得ない
3. 児童生徒数が減っても、統合すべきではない
4. その他 ( )

問 14 学校の適正規模・適正配置の検討に当たり、児童・生徒の教育活動や通学などについて、特に配慮が必要だと思われる点があれば、ご記入ください。(特にない場合、記入は不要です。)


質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※本調査票は、各学校で取りまとめの上、教育総務課まで提出してください。  
(アンケートフォームで回答いただいた場合、調査票での回答は不要です。)